

大阪市立
西淀川
特別支援学校

タイトル(テーマ)
「お絵かきアプリで、キラキラ模様を描こう！」

西淀川 No 4 号
平成
27年 3月 31日

対象の児童生徒
中学部 C2グループ

困り感


肢体不自由児は筆を持つのが嫌だったり、握りこむことで緊張が入ってしまう子もいる。そんな子が、よりストレスの少ない描画活動ができないか。



取り組みの内容・授業の様子等

【使用アプリ、機器等】:「キラキラ」、プロジェクター、パソコン、wifiルーター、プリンター

【内容・授業の様子】:「キラキラ」は画面をなぞると七色のグラデーションで線描やスタンプを描いていく事ができる。また描画に合わせて、キュキュキュと変わった音が鳴り、それも注意を惹きつける要素となる。視聴覚教室で室内を暗くし、プロジェクターで天井に映し出すことで待っている生徒も過程を見ることができる。「花火」の課題から連続で行ったので、天井に映し出された映像が変化していくこと、それに自分たちが関わっていることもわかってきたように思う。作った絵は写真フォルダーに保存することができるので、プリントアウトし作品展に出品した。



これも天井に映し出しています



〈作品展展示の様子〉

成果と今後の課題

【成果】指が直接筆となるため、握らないといけないストレスが無く、またはっきりとした色使いや変わった音が同時に鳴るのが生徒のモチベーションを高めた。不随の緊張が入る子が得意な親指で描く割合が増えたり、横線ばかり描いていた子が他の友だちのやっているのを見て点描を試みたりと、様々な変化が見られた。また作品展やバザーにも出せたことは、重度の子の美術教育やキャリア教育にも一つの提案となるのではないだろうか。

【課題】iPadから直接印刷できれば、汎雑さを回避できる。無線LAN環境とwifiプリンタの整備。